

October 17, 2019

**【前日の為替概況】ポンド、ブレグジット案合意観測で全面高、対ドル 1.2877ドル、対円 140.10円**

16日のニューヨーク外国為替市場でポンドは全面高。「英政権に閣外協力する北アイルランドの地域政党・民主統一党（DUP）が譲歩し、ブレグジット合意の可能性が高まった」との報道を受けて全般ポンド買いが先行。フォスターDUP党首はこの報道を「DUPが提案受け入れという話はナンセンス。交渉は継続」とすぐに否定したものの、離脱案合意への期待感は根強く市場の楽観姿勢は続いた。EU当局者によると「英国とEUは離脱交渉で暫定合意におおむね達し、英政府の承認待ちの状態だ」という。

ジョンソン英首相が保守党の有力議員との会談でブレグジット合意が間近であることを示唆すると、ポンド買いが加速。ポンドドルは1.2877ドルと5月15日以来約5カ月ぶりの高値を付けたほか、ポンド円は140.10円と5月22日以来の高値を付けた。ユーロポンドは0.8598ポンドと5月9日以来のユーロ安・ポンド高水準を更新した。なお、マクロン仏大統領も「ブレグジット合意は間近」との見方を示している。

ユーロドルは続伸。終値は1.1072ドルと前営業日NY終値（1.1033ドル）と比べて0.0039ドル程度のユーロ高水準だった。ポンドドルの上昇につれたユーロ買い・ドル売りが優勢になり、1.1086ドルと9月16日以来1カ月ぶりの高値を付けた。9月米小売売上高が予想より弱い内容となり、米10年債利回りが低下したこともユーロ買い・ドル売りを誘った。

ドル円は6営業日ぶりに小反落したものの、今日の値幅は30銭程度と大きな方向感が出ていない。終値は108.76円と前営業日NY終値（108.86円）と比べて10銭程度のドル安水準。17-18日のEU首脳会議を前に、英国のEU離脱案合意を巡る思惑でポンドの取引が活発となりドル円は蚊帳の外だった。9月米小売売上高が前月比0.3%減と予想の0.3%増に反して減少したことが分かったと108.57円と日通し安値を付けたものの、下押しは限定的。10月NAHB住宅市場指数が71と予想の68を上回ったことが相場の下支え要因となり、一時108.85円付近まで持ち直した。そのあとは108.70円台で徐々に値動きが鈍った。

ユーロ円は続伸。終値は120.43円と前営業日NY終値（120.10円）と比べて33銭程度のユーロ高水準。ユーロドルの上昇につれた円売り・ユーロ買いが出て一時120.47円と8月1日以来の高値を更新した。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、ブレグジット合意や米中通商合意に関する報道に要警戒か**

本日の東京市場のドル円は、英国と欧州連合（EU）によるEU離脱案合意や米中通商部分合意に関連する要人発言などのヘッドラインに警戒する展開が予想される。

ドル円の上値には、108.90円と109.00円にドル売りオーダーが控えているものの、超えるとストップロス買いが控えており、リスク選好となるポジティブサプライズを受けた買い仕掛けに要警戒となる。下値には、108.50円にドル買いオーダーが控えており、9月日銀短観での大企業・製造業の2019年度想定為替レート108.68円を意識しながらの展開が予想される。

本日は、9時30分に9月の豪雇用統計（予想：失業率5.3%、新規雇用者数+1.50万人）が発表されるが、9月の中国の景気減速を受けたネガティブサプライズに要警戒となる。

「第1段階」の米中通商「部分合意」に関しては、今週は米中次官級通商協議が開催されており、来週の電話での米中閣僚級通商協議で文書化され、11月16-17日のAPEC首脳会議に併せて開催される米中首脳会談で、トランプ米大統領と習中国国家主席が署名する見込みとなっている。トランプ米大統領は、「米中通商の合意文書は作成中。（APEC首脳会議が開催される）チリで習・中国国家主席と会談するまでは署名しないだろう」と述べているものの、リスクシナリオとしては、「今回の合意が今後数週間で白紙に戻るとは考えていないが、可能性はある」との警告となる。

中国側は、「米国に対する報復関税を維持する限り年間500億ドル相当の米国産農産物の購入は難しい、報復関税を撤廃する条件は、トランプ米大統領が関税を撤廃することだ」と述べ、米下院が可決した「香港人権・民主主義法案」に対する報復措置を示唆している。

さらに、朝鮮半島情勢、サウジアラビアとイラン、トルコとシリアを巡る地政学リスクなどにも要警戒となる。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

&lt;国内&gt;

特になし

&lt;海外&gt;

- 09:30 ◎ 9月豪雇用統計（予想：失業率 5.3%／新規雇用者数 1.50 万人）
- 16:30 ◇ 9月スウェーデン失業率（予想：6.7%）
- 17:30 ◎ 9月英小売売上高（自動車燃料含む、予想：前月比横ばい／前年比 3.1%）
  - ◎ 英小売売上高（自動車燃料除く、予想：前月比▲0.1%／前年比 2.8%）
- 18:00 ◇ 8月ユーロ圏建設支出
- 21:30 ◇ 8月カナダ製造業出荷（予想：前月比 0.6%）
- 21:30 ◎ 9月米住宅着工件数（予想：132.0 万件、前月比▲3.2%）
  - ◎ 建設許可件数（予想：135.0 万件、前月比▲5.3%）
- 21:30 ◎ 10月米フィラデルフィア連銀製造業景気指数（予想：7.6）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：21.5 万件／168.2 万人）
- 22:00 ◎ 9月ロシア失業率（予想：4.3%）
- 22:15 ◎ 9月米鉱工業生産指数（予想：前月比▲0.2%）
  - ◇ 設備稼働率（予想：77.7%）
- 24:00 ◇ EIA 週間在庫統計
- 18日 02:30 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 18日 03:00 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、イベントに参加
- 18日 03:00 ◎ ビスコ・イタリア中銀総裁、講演
- 18日 05:20 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演
- 18日 05:30 ◎ クノット・オランダ中銀総裁、講演
- 18日 06:00 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 米財務省 2年、5年、7年債入札条件
- 欧州連合（EU）首脳会議（ブリュッセル、18日まで）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

## 【前日までの要人発言】

16日 21:42 フォスター民主統一党(DUP)党首  
「EU筋による“DUPが提案受け入れ”という話はナンセンス。  
ブレグジット交渉は継続される。」

16日 07:33 バスカンドRBNZ副総裁  
「目標達成のために、より低い金利が必要」  
「NZは外的要因で脆弱のまま」

16日 11:45 格付け会社スタンダード&プアーズ(S&P)  
「米中間の貿易、テクノロジー紛争は進行がみえない」

16日 14:10 欧州連合(EU)当局者  
「英国とのEU離脱を巡る交渉は15日夜遅くまで続いたが、  
16日に再開する」  
「DUPによる最新提案の受け入れで英・EU離脱に関する  
合意への障害は解消へ」

16日 14:42 英当局者  
「英国とEUとの離脱協議は、16日午前に再開される」  
「EUとの離脱協議は、建設的で進展があった」

16日 14:56 黒田日銀総裁  
「今後も大規模緩和を継続、バランスシードの拡大が続く」  
「物価安定目標が達成すれば大規模緩和を継続する必要  
はない」

16日 15:18 独政府筋「GDP不調なら刺激策も」

16日 15:31 ルメール仏財務相  
「英・EU離脱交渉に関する望みは乏しい」  
「どのような譲歩が成されるか注視」

16日 22:01 ポンペオ米国務長官  
「予定通りトルコを訪問し、エルドアン・トルコ大統領と直接  
話し合うつもりはある」「米国の目的はトルコとの関係を壊す  
ことではなく、シリア内でのトルコの行動を承認しないこと」

16日 23:18 レーンECBチーフ・エコノミスト  
「EU圏は予想以上の景気停滞に直面している」  
「ECB政策は経済成長や物価にとって効果的なまま」  
「更なる財政政策を求める」

16日 23:37 トランプ米大統領  
「米中通商の合意文書は作成中」

「(APEC首脳会議が開催される)チリで習・中国国家主席  
と会談するまでは署名しないだろう」  
「中国は既に米国産の農産物を購入し始めている」

16日 23:50 ドミニク・グリーブ英下院議員・元英法務長官  
「離脱最終案が今週中に合意に至らないのは明らか」

16日 23:52 エバンズ米シカゴ連銀総裁  
「次回FOMCを前に先入観を持たない」  
「FRBの政策は現時点ではおおむね良好」  
「FRBは差し迫った景気下降に直面すれば積極的に行動  
するだろう」「追加利下げでインフレの2%目標を達成できる  
と確信」「インフレ2%目標達成のため緩和的政策が必要」

16日 00:25 英首相報道官  
「英首相は良い合意を勝ち取る可能性があることを閣僚に  
伝えた」「英首相は未解決の事項があることも述べている」

17日 01:49 マクロン仏大統領「ブレグジット合意は間近」

17日 02:13 メルケル独首相  
「ブレグジット交渉は残り数メートルのところにいる」  
「ブリュッセルからのニュースが良くない可能性もある。バルニエ  
首席交渉官からの報告を待たねばならない」

17日 03:00 カプラン米ダラス連銀総裁  
「前2回の利下げは支持するが、次の動きについては分かり  
かねる」

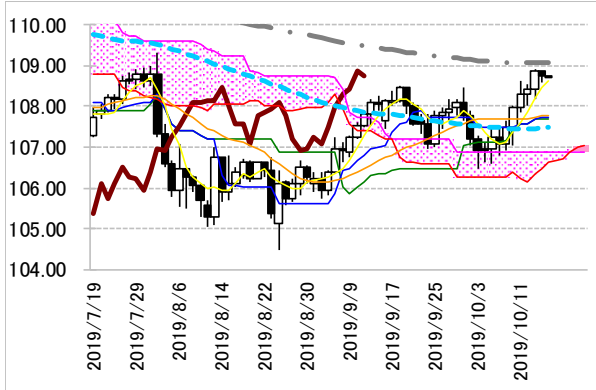
17日 03:00 米地区連銀経済報告(ページブック)  
「米経済活動はわずかから緩やかなペースで拡大」  
「賃金は緩やかに上昇。個人消費は堅調。製造業は苦戦」  
「企業は拡大継続と予想するも多くは見通しを引き下げ」

17日 03:28 南ア国営電力会社エスコム  
「ステージ2の計画停電は17日も継続」

17日 06:13 ムニューシン米財務長官  
「ブレグジット巡る状況を注視する」  
「トルコがシリア領内で停戦しなければトルコへの追加関税」  
「中国との通商合意、文書化でやるべきことがまだある」  
「ライトハイザー-USTR代表と中国を訪問する準備はしてい  
る」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

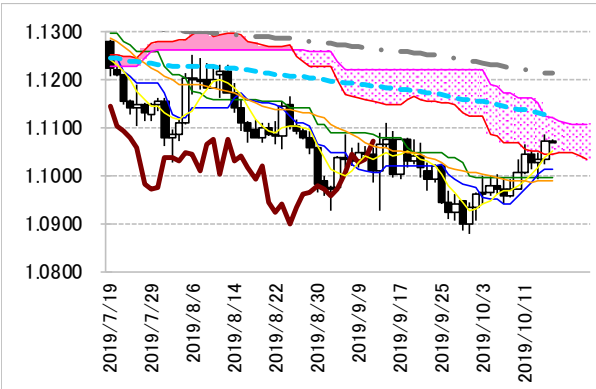


### <ドル円=15日安値を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯した。しかし、価格が108.48円から108.90円まで高値更新したものの、相対力指数は66.06から65.61へ低下しており、逆行現象がダブル・トップの可能性を示唆していることで要警戒か。

本日は、15日安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下回れば手仕舞い。

レジスタンス1	109.32(8/1 高値)
前日終値	108.76
サポート1	108.16(10/15 安値)
サポート2	107.74(日足一目均衡表・転換線)

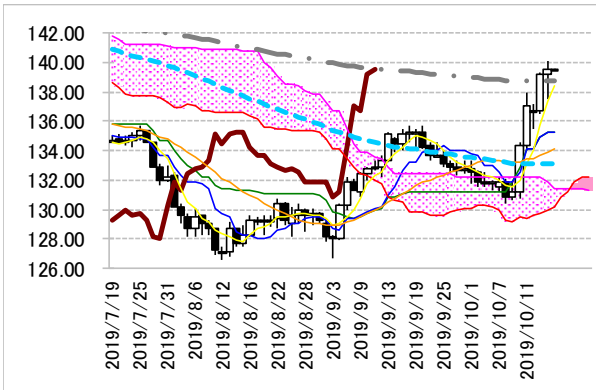


### <ユーロドル=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の中で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。

本日は、雲の下限1.1043ドルを念頭に置きながら、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1119(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1072
サポート1	1.1014(日足一目均衡表・転換線)

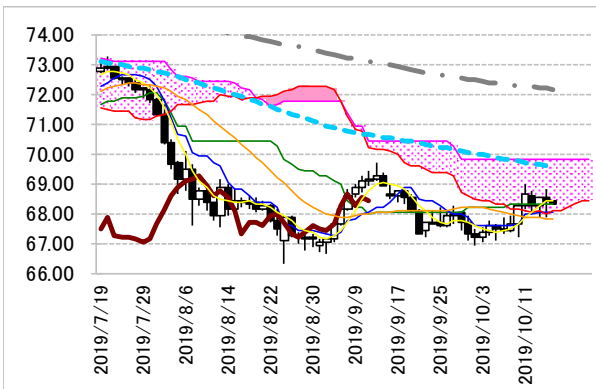


### <ポンド円=200日線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線と同値だが、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。陽線新高値5手で5日・21日・90日・200日移動平均線を上抜けており、続伸が予想される。

本日は、200日移動平均線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	140.10(10/16 高値)
前日終値	139.56
サポート1	138.74(200日移動平均線)



### <NZドル円=9/12高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の中で引けている(中立要因)ことで、売りシグナルが優勢な展開となっている。変則的な「二本立ち二羽鳥」的パターンとなっており、反落の可能性が示唆されている。

本日は、9月12日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	69.69(9/12 高値)
前日終値	68.42
サポート1	68.06(日足一目均衡表・転換線)

